

令和7年度「横浜の農景観に関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

Q4 の住宅敷地内に建っている農業用施設（倉庫など）用地部分の土地固定資産税を軽減する制度に関する質問では、「ア 知っていた」が 9.7%となり、制度の認知度が低いことが分かりました。また、Q5 の制度に対する考えに関する質問では、「ア 農景観保全の効果が高く、さらに充実させるべき」（16.9%）、「イ 農景観保全の効果があり、このまま継続すべき」（47.3%）を選択した方が多くいらっしゃったものの、自由記載欄で「農景観という観点のみから税制度に優遇措置を設けるのは不公平感を生じさせる」「本質的な農景観の活性化につながっていないと感じる」といったご意見もいただきました。今後、集計結果を参考にさせていただき、より多くの方に評価していただける制度検討を進めていきます。

2 アンケートを実施した感想

Q2「横浜の「農景観」にどのような価値があると感じますか。」の質問では、「ア 新鮮な野菜や果物などが手に入ること」（65.2%）、「イ やすらぎや潤い、季節の移ろいを感じさせてくれること」（65.0%）を魅力と感じる方が多くいらっしゃる事が分かりました。また、自由記載欄では多くのご意見を寄せていただき、市民の皆様の率直な考えを知ることができました。ぜひ今後の制度検討に活用していきたいと考えています。

3 担当部署のeアンケートメンバーへのメッセージ

このたびは、ヨコハマ e アンケートにご協力いただきありがとうございました。横浜の農景観に関する率直なご意見をいただくことができ、大変参考になりました。今後も、市民の皆様のニーズに応えていけるよう、努めていきます。

担当：みどり環境局 農政推進課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。